

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)鳥取駅前ホテル 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40		-	2.6
1 音環境		1.8	0.15	3.1	1.00	2.4
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		1.0	0.40	3.3	0.40	
1 開口部遮音性能	客室開口部の遮音性能:T-3	1.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.6	0.25	3.6	1.00	3.1
3.1 昼光利用		1.8	0.31	3.6	0.30	
1 昼光率	客室昼光率:1.0%以上	1.0	0.56	4.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.44	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.28	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御	客室内は複数部分に対して細かい制御が可能	3.0	0.26	5.0	0.25	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.2	1.00	3.1
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	客室の自然換気有効開口面積:床面積の1/15以上	-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	客室への吸気は、各種排気との離隔距離6m以上を確保	3.0	0.50	4.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.03	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.97	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0
1 機能性		2.9	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応	1Gbitクラスのインターネットサービスの環境整備	-	-	5.0	0.50	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.9	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	客室の天井高:2.5m	1.0	0.02	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.02	-	-	
3 内装計画		3.0	0.96	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上り材の補修必要間隔	外装材にタイルを採用	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上り材の更新必要間隔	耐用年数の長い内装材の採用	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	浴室系統のダクトの長寿命化	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	耐用年数の長い配管材の採用	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性		3.2	0.20		-	
1	空調・換気設備	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	2.0	0.20		-	
3	電気設備	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	5.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.4	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり		3.6	0.02	1.8	0.50	
1	階高のゆとり	4.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.02	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.96		-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1	生物環境の保全と創出	1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能の高い建材を採用	3.4	0.20		3.4
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.65 住宅(専有部) -	5.0	0.50		5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	高効率な設備機器の導入	5.0	1.00		
	集合住宅の評価(3c)					
4	効率的運用		3.0	0.20		3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
	集合住宅の評価					
4.1	モニタリング					
4.2	運用管理体制					
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護		3.8	0.20		3.8
1.1	節水	節水型の水栓器具、便器の採用	4.0	0.40		
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無	井水利用	4.0	0.70		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		
2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60		3.1
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法の採用	4.0	0.20		
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.20		3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.70		
1	消火剤	不活性ガス消火設備の採用	4.0	0.33		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		
3	冷媒		3.0	0.33		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	高効率な設備機器を採用し、CO2発生量を抑制	4.2	0.33		4.2
2	地域環境への配慮		2.5	0.33		2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25		
1	雨水排水負荷低減		-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		
3	交通負荷抑制	駐車場の確保、周辺渋滞へ配慮した駐車場計画	4.0	0.33		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		
1	騒音		3.0	1.00		
2	振動		-	-		
3	悪臭		-	-		
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制		-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		
3.3	光害の抑制		3.7	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺への光害に配慮した照明計画	4.0	0.70		
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		